

H28 小さなビジネス一覧表

資料3-5-①

【分類】 集活センター：◎＝取組み中 ○＝取組み予定 ☆＝今後可能性あり 地域AP：○＝包括的な位置づけあり ☆＝今後位置づけられる可能性あり

地域	NO	市町村(地区)	取組の概要(主要商品等)	取組主体	集活C	地域AP	特記事項(主な動き)	地域	NO	市町村(地区)	取組の概要(主要商品等)	取組主体	集活C	地域AP	特記事項(主な動き)		
安芸	1	室戸市 黒見・中川内・中の川・崎山・中尾地区	柑橘、茶、梅等の加工品	黒見・中川内・中の川・崎山・中尾地区の農家	☆	☆	・黒見集会所兼加工所の新設(H26補助金)・冷凍冷蔵庫等の整備(H27補助金) ・庭先集荷による販売額886千円(H27・4月～H28・3月(中川内)) ・ ♪♪♪を試作し(H28・10月～)、販売を予定(H28・4月～)(崎山)(H27補助金)	高幡	1	須崎市 大間地区	手づくりすき味噌	JA土佐くろしお女性部	○	NO.2	・H27補助金を活用し、自動発酵機を整備(H28・3月)H27販売額:499千円(前年比103.5%) ・直販所統合後の需要に応じた生産計画の検討		
	2	室戸市 崎山地区	室戸椿髪美ミスト	崎山常会(製造:㈱ミュージズ)	☆	☆	・地域のイベント等で販売活動を行ったほか、ふるさと納税の返礼品にも採用。販売数実績197本(H27・3月～H28・4月)		2	中土佐町 大野見地区	七面鳥	大野見七面鳥生産組合			・補助金を活用し、真空包装機等を導入(H26)・H27年度売上高:540万円 ・地元保育所で食育授業の実施・H28年度目標生産羽数600羽		
	3	室戸市	水産物加工物	(一社)うみ路	—	☆	・他事業者と連携し、アジアオノリのアイスクリームを開発し、販売を開始する(8月～) ・1月より貝類等の養殖実験開始・ ♪♪カフェで青のりうどんの提供開始(H28・1月末～)		3	橋原町 初瀬地区	鷹取キムチ、鷹取ドレッシング、焼肉のたれ	鷹取キムチの里づくり実行委員会	◎	○	NO.29	・「集活センターはつせ」の活動の一環として、チムシルバン・レストラン鷹取がオープン(H27.3) ・H27売上:4,700千円(キムチ) ・ 奥四万十博開催を契機に、キムチづくり体験を実施するためのプログラムを作成	
	4	室戸市 黒見地区	深層水米	黒見地区の農家	☆	☆	・補助金を活用し、海洋深層水を散布する噴霧器を購入(H26) ・売上額:196千円(H25)→784千円(H26) ・ 業市(ふるさと納税返礼品含む)での販売実績482袋(H27・8月～H28・3月) ・生産量の増大 3,000本(H26)→4,000本(H27)・県立大生の協力による市での販売		4	津野町 郷地区	地域の産品を使った加工品	郷地区活性化委員会	◎			・集活センター「奥四万十の郷」運営計画の策定 ・「不入の茶」のH27の販売額 251千円(前年度比144.3%)	
	5	安芸市 東川地区	入河内大根	入河内大根のこそう会	◎	○	NO.26		・地域住民に大根の種を配布し、生産者が昨年より倍増する(12名→24名) ・地元高校生、地元企業と連携し商品開発を行う(H28～販売開始予定)	5	津野町 久保川地区	味噌、焼肉のたれ、田舎寿司	久保川生活改善グループ	☆			・H27補助金を活用した 設備整備が完了し、新イベント開催計画の策定等 や奥四万十博への参加も決定、また新たに会員も増える・ H27味噌販売額:889千円
	6	安芸市 畑山地区	土佐ジローの燻製、肉	(有)はたやま夢楽	☆	○	NO.21		・高島屋オンラインショップで鍋セットを販売開始・ 土佐ジロー販売額 H27 31,000千円/年 ・安芸市商店街でのチャレンジショップでの営業開始(11月～)客数:3,200人 ・機動力確保と販路拡大を目的に、 H27補助金を活用し、移動販売車を購入(H28・3月) ・売上高 13,257千円(H26・11～H27・10)前年比121%・未利用魚を活用したペットフードの販路開拓(高知市内のペットショップで取扱いが決定)	6	津野町 船戸地区	ランチビュッフェ 惣菜等の配食サービス	せいらの里(堂好海せいらん)	☆			・奥四万十博に向けて新たな土産物を開発中(木工製品) ・新会員(30代)が参入・ ランチビュッフェ H27客数:957名
	7	東洋町甲浦地区	鮮魚、水産加工品	㈱マルキョウ	☆	☆			・「集活センター」及び高知大学と連携し地域住民協働で栽培を実施 H27:4畝(H26:2畝) ・H27補助金を活用して自然薯加工機器の購入したことにより、地域住民の経済活動への意識が高まっている・規格外の自然薯活用による販売増を図る	7	津野町 白石地区	こんにゃく、そば、ピザ	白石地区活性化検討委員会	☆			・ お試しピザの販売 第1回(12/6)50枚 第2回(1/24)100枚(若い女性層の活躍) ・ 高知県立大学との協働事業を実施
	8	安田町 中山地区	自然薯	地元農家(14戸、2団体)	◎	○	NO.28		・北川温泉内の直販市35回開催 売上81千円(9月より改装中により休止) ・東部博関連イベント等に出店・ 村内イベント4回出店 売上231千円	8	四万十町 平串	ブルーベリージャム、シロップ	㈱サンビレッジ 四万十	☆			・今年度はブルーベリー収穫量減少・ ブルーベリー園入園者数:520人(H26:344人) ・28年3月12日開所の集落活動センター調理場にて商品の製造を考案中
	物部川	1	南国市 稲生	びわ葉茶	稲生びわ研究会	◎	○		NO.15	・市内レストランとの取引が決まり、10月より納入開始・ 電気式乾燥機等の導入 ・ びわ種ローション、石鹸のモニター調査を実施(H27・12月～H28・2月) ・県外企業との取引が決まり乾燥機約100kg(約75万円)を購入 ・ 白木谷ゆめファクトリー設立(H28・3月)、加工工場の概要決定(H28こうち農業補助金)	9	四万十町 本堂・地吉	四万十しょうがのあまからに	四万十さいあい・五縁の会	○	NO.12	・ 商品を3商品に絞込み製造販売中 ・新業者との取引により作業の効率化と経費削減がなされる・土産用として9月にびん入りを試作、商品として販売計画を立てる
2		南国市 白木谷	乾燥たけのこ	白木谷ゆめクラブ	☆	○	NO.15	・販路の拡大に努めており、8件の新規取引先を獲得。 ・売上額の増加(H27・3月末時点:2,063千円、昨年比:138%)	10	四万十町 禰山	ときめき味噌	JA四万十女性部・ときめき家	○	NO.9	・補助金を活用し、自動発酵機の購入により、本格的な生産を開始(H26) ・ 製造した味噌はJA直販市や道の駅等へ出荷 H27売上:2,559千円(H26:2,432千円)		
3		香美市 物部町大橋	ゆず皮加工品	奥もべじじばばあんぜんかい		○	NO.20	・「新日本歩道紀行 文化の道100選」に選定(H27・9月) ・ 「第8回土佐塩の道30kmうおーく」参加者数81名	11	四万十町 大正江師	なめらかプリン、米粉フォンケーキ	(株)エコロギー 四万十			・地域イベント等への出店		
4		香美市 香北町・物部町	観光ガイドツアー	土佐塩の道保存会		○	NO.27	・みかんジャム、みかんアイス、みかんジャムパンの販売(西川花祭りなど) ・高知大学協働学部と連携し、加工品開発に向けて協議を行う	12	四万十町 地吉	くびったけ、生姜の甘辛煮など	五縁の会	○	NO.12	・営業活動により「道の駅なぶら」へ販路開拓 ・ 「くびつ草」販路状況:城西館など計11箇所及びふるさと納税返礼品		
5		香南市 香我美町西川	みかん・生姜等加工品	西川地区集落活動センター推進協議会	◎				13	四万十町 十和地区	からいジャン、しいたけコロッケ など	(株)十和おかみさん市加工部			・H27補助金を活用し、直販所「とおわの台所」が完成 ・ バイキングが好評(来客数:120～130人) ・ふるさと納税での売上が増		
高知市	1	高知市 土佐山中川地区	地域内直販所での地元農産物の加工及び販売	(有)中川開発	☆	☆	・補助金を活用し、照明等売り場の環境改善を図る(H26) ・高知大との連携の下、地域イベント(ほたるまつり)をスタート(H26～) ・ オーベルジュ土佐山でユズ等のスイーツを販売予定(H28末)地域APNO.10	14	四万十町 十和地区	しまんと新聞ばっく	NPO法人RIVER			・イベントでの新聞バッグを活用・ H27補助金を活用し、マニュアル・パンフレット作成 ・インストラクター養成講座を開催し、今年度39名のインストラクターを育成			
	2	高知市 土佐山高川地区	竹粗加工品・竹チップ、竹粉	高知竹材センター	☆	☆	・竹材一次加工事業を開始(H28.5～) ・事業内容に簡易な手作業が含まれ集落活動の事業になり得る。	15	四万十町 十和地区	四万十うなぎまき	JA高知はた女性部						
	3	高知市 鏡吉原地区	地域の特産品の販売	吉原ふれあいグループ	☆	☆	・田舎寿司づくり体験などの旅行商品化、補助金を活用し、鍋、販促活動用品を購入し、新メニューの開発(H26)・各種イベントの実施、とさ恋ツアーの受入の継続	1	宿毛市 中角	米の生産販売	農事組合法人ファームなかつの	☆		・27年度産の米売上 2,990千円・ 地域内の農作業受託による収入:3,970千円			
	4	高知市 鏡地区	猪の食肉処理及び販売	高知県中央地区猟友会鏡支部			・精肉の質は高いと評価を受けている・ 猟期に向けた販路の拡大が課題 ・ H27補獲頭数:62頭(処理頭数:9頭)	2	宿毛市 沿岸部	魚のすり身天ぷら、キバナゴ天ぷら、鯛めし	すくも漁漁協女性部ほか	☆		・ 委託販売、イベント出店により、一定の売上を維持(売上:800千円)			
	5	高知市 北七ツ瀬地区	四方竹キムチ・漬物などの製造・販売	七ツ瀬集落活動センター	◎	○	NO.9	・ 集落活動センター開所(H28.3月) ・体験型ツアー受入実施中 ・ 四方竹の加工品開発に向け協議中	4	土佐清水市 松尾	ツワブキの葉押し寿司	松尾さえずり会			・原価率の見直しにより利益率は向上 ・後継者の育成が課題		
嶺北	1	本山町 沢ケ内	しそジュース	汗見川生活改善グループ	◎	○	NO.4	・県内外イベントでPR販売を行うなど、販売本数、販売店が増加 ・販売本数 約2,350本(H28・3月末)	5	土佐清水市 立石	笹の葉を使った器、きし豆茶	(株)山和淡水	☆		・収益活動が成立するだけの体制づくりが必要		
	2	土佐町 石原地区	さめうら漬け力漬	西石原生活改善グループ	◎		・売上は前年度並みを維持予定(売上 H25:189千円→H26:595千円) ・グループの世代交代や参加拡大が課題	6	土佐清水市 大岐	手づくりみそ	大岐はまぐり会	☆		・補助金を活用し、新パッケージが完成(H26)、地元スーパー等での販売は継続			
	3	大豊町	碁石茶せんべい	大豊町農漁村女性グループ研究会		○	NO.15	【新規】	7	四万十市 西土佐口屋内	農家レストラン「しゃえんじり」	しゃえんじり	☆		・新商品(ぬか床セット)が完成 ・新スタッフの加入(2名)・ 広報誌発行開始		
	4	土佐町 三島	ブドウを原料に製造した果実酒	こだわりの巨峰農園三島ファーム				【新規】	8	四万十市 東富山	コンニャク、干しシイタケ、ひがしやま	東富山を守る会	☆		・休校を活用し、ひがしやま干場用ハウスが完成(12月末)(小規模・個人→共同園場へ) ・ 四万十ドラマとの安定した取引は継続中		
仁淀川	△	大豊町 八川	碁石茶おかし 碁石茶あられ	八川地区住民		○	NO.15	・商品のブラッシュアップに向け6次産業化チームを編成し、専門家のアドバイスを受ける ・東部地域で1件定期取引開始 H27年度出荷量(おかし180袋 あられ180袋)	9	四万十市 三つ又	地元ゆずの加工品製造販売	三つ又ゆず加工グループ	☆		・地元高校生によるゆず収穫体験及び加工品づくり体験の実施 ・ 早急な後継者育成が課題		
	1	いの町 上八川	棚田みそ、棚田育塩麹、農家レストラン・弁当販売	なつめの木	☆	☆	・H27年度より農家レストランを定期的に開催 売上:約150千円 客数:150人 ・毎週火曜日にいの町内で弁当の予約販売を行う(H27年度売上 290千円)	10	四万十市 西土佐江川中組	手づくりの「伝統豆腐」	西土佐中組「絆の会」			・道の駅開業(H28・4)に合わせて製造量を増やすことを検討中 ・ 2～3月中に接客に関する講習会を開催予定			
	2	いの町 上八川	ゆず味噌 珍味こんにゃく	木の瀬生活改善グループ	☆	☆	・販売拡大に伴う原材料の確保が課題 ・原材料の確保及び生産体制の再協議	11	大月町 安満地	魚のすり身天ぷら	満天クラブ			・商談会に出店し、積極的に販促活動を実施・継続			
	3	仁淀川町 沢渡	沢渡の茶大福	㈱ピバ沢渡	☆	○	NO.1	・販売額11,064千円(H27・1月期) ・茶葉を使った新たなスイーツを開発(安芸市の社会福祉法人にOEM依頼)、28年2月より「ゆの森」むらの駅ひだか等で販売(平均販売数:100個/日)	12	大月町 柏島	魚のすり身天ぷら・コロッケ	柏島女性加工クラブ(漁協女性部)			・町内イベント等に出店し、販促活動を継続・ 県内小学校で魚食活動を実施		
	4	仁淀川町 別枝	いりもち	秋葉生活改善グループ	☆	☆	・村の駅ひだかでの販売開始(7月～)・積極的な販路開拓による売上増(H28.6月期売上高3,500千円見込み 対前年比約170%) ・ H28は外販面を中心に計画づくり ・ H27補助金を活用した焼き肉のたれのブラッシュアップにより大手量販店で取扱い決定(H27売上:約59千円)・お弁当売上 約69千円、一本こんにゃく売上 約61千円・新商品の開発(柑橘ドレッシング)	13	三原村 柚ノ木	三原硯	三原硯石加工生産組合	☆		・新規研修生1名の受け入れ・ 中学校教育への硯の活用検討 ・東京(新規研修生募集)・大阪で行う移住フェアへの参加			
	5	土佐市	農産物の加工品、弁当	やさい畑～potager～		○	NO.19	・ 「サニーマート」への出品を継続的に行う ・会員が移住者等にグループへの参加を積極的に呼び掛け、マンパワーの一定維持につながっている	14	黒潮町 佐賀	潮風みかん	森本みかん園			・道の駅やJA直販所と販売契約を結び販売を開始(H26・10月～)		
△	仁淀川町 上名野川	よもぎまんじゅう アメゴの塩焼き等	上名野川生産加工グループ	☆	☆			15	黒潮町 加持川	米あめ	ともし工房	◎		・ 農家民宿の運営準備 ・ 補助金(町単)を活用した販売ツールの製作			
※ 「No」中の ○新規案件 △削除案件 □H27小さなビジネス補助金(地域づくり支援事業費補助金)活用案件								合計 61件									

「小さなビジネス」推進の方向性と育成手順



■目的

「小さなビジネス」の発掘・育成を促進し、地域の活力を創出することで、持続可能な中山間地域を実現する

■対象とするビジネス

中山間地域の小規模グループや集落活動センターなどが行う、地域資源を活用した加工品づくり・住民主体の観光交流事業等の取り組み

■「小さなビジネス」ピックアップの視点

- 1) 地域アクションプランのすそ野を広げる取り組み 2) 集落活動センターの経済活動につながる取り組み 3) 「生きがいつくり」など地域が残したいと思う取り組み

掘り起こし

市町村等と連携し地域の取り組みをピックアップ

ピックアップの視点

- 1) 事業者に意欲があり将来的に発展性が見込まれる(地域APのすそ野を広げる)取り組み
- 2) 集落活動センターの経済活動につながる取り組み
- 3) 地域政策の観点から残す必要のある取り組み(加工技術の伝承、生きがいつくり等)

地域本部で指定

- 取り組みのすそ野を広げるために積極的に新規案件を発掘
- 集落活動センターの取り組みにつなげることを重視した発掘
- 市町村や関係出先機関等と連携を図りながら支援の必要性を検討

「小さなビジネス」に指定

<目標値>
新規指定数22件(H28~31)

育成

取り組みの課題と方向性を明確化

課題に応じた効果的な支援を実施

【個々の課題】

- 生産体制が弱い
- 販路が地域内に限定
- 経営感覚の弱さ
- 商品の魅力不足(顧客視点の欠如)
- 担い手不在

【対応策】

- 小さなビジネス補助金活用による、機器の整備等
- 県主催の商談会、まるごと高知のテストマーケティング等
- アドバイザー派遣による経営計画の策定等
- 土佐MBAへの参加・補助金活用による商品のブラッシュアップ等
- 人材(移住者、高知ふるさと応援隊等)の導入検討等

主な支援ツール

- 小さなビジネス補助金(地域づくり支援事業費補助金)
対象事業: 機器の整備、新商品開発、販促活動等
補助限度額: 100万円(複数年活用可)
補助要件: 小さなビジネスへの位置付け
活用実績: 21件(H26~27)



◆ 地域本部が案件ごとに課題を抽出し、対策や方向性を整理(個表の作成)

◆ 取り組み状況を確認しながら、課題に応じて各種支援ツールの活用を事業者や市町村に働きかけ、ビジネスの育成を図る

徹底! 地域本部が市町村や県関係課等と連携しながら個別案件の取り組みをサポート

本格実施・拡大

ビジネスをブラッシュアップ
更なる拡大へ

外商の拡大、雇用の創出等を目指す



主な支援ツール

- 産業振興推進総合補助金(ステップアップ事業)
・新商品開発、新たな設備投資に向けた事業計画策定等
- 産業振興アドバイザー・都市圏への販路拡大、販売戦略の策定等

◆ ビジネスの成長に応じて更なるステップアップを支援

小さなビジネスを集落活動センターの経済活動へつなげる

- ◆ 地域への集落活動センター事業の周知、働きかけ
- ◆ 既存の集落活動センターで新たに経済活動に取り組む場合、芽出し段階から「小さなビジネス」へ位置付けて支援

- ◆ センターの経済活動としての事業計画の作成支援
- ◆ 地域全体での合意形成への支援

- ◆ 役割分担、仕組みづくりへの支援
- ◆ 人材育成・確保、補助事業活用等の情報提供



関係機関(地域本部・中山間地域対策課等)が連携して集落活動センターの立ち上げ・運営をサポート

地域本部等による「生きがいつくり」などの取り組みへのサポート

集落活動センターの経済活動として実施・定着

主な支援ツール

- 集落活動センター推進事業費(経済活動拡充支援)補助金、小さなビジネス補助金等

◆ ビジネスの定着に向けた販路拡大、生産体制の確立等の取り組みを支援

地域住民が残したいと思う取り組みの継続



地域APに位置づけを目指す

将来

だれもが一定の収入を得ながら、安心してくらし続けることができる中山間地域

1 拠点ビジネスの定義と性格

第三セクターや農協など地域の中核的な事業者が、農林水産物や加工品の製造販売や、観光の取り組みなど、いくつかの「小さなビジネス」を集約しながら多角的なビジネスを行うものうち、採算性のみを追求するのではなく、採算性が悪くても地域や集落の活性化に産業面から寄与するような中山間対策のけん引役となる取り組み

2 これからの方向性

・展開中の拠点ビジネスについては、地域の所得の向上や雇用の創出がもたらされる取り組みとなるよう、それぞれの課題に対応した、きめ細かなサポートを行う。拠点ビジネスの構築に向け、仕組みづくりを行っている取り組みについては、早期の展開に向け、組織づくりや小さなビジネスとの連携等の仕組みづくりへのサポートを行う。
 ・必要な市町村で拠点ビジネスが展開されるよう、新規案件の掘り起こしを行う。

3 拠点ビジネス一覧表

地域名	NO	市町村	取組の概要	拠点となる事業者 [主な販売拠点]	取組区分	地域AP	特記事項
安芸	1	室戸市	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大	室戸市(指定管理者:協同キラメッセ室戸有限会社) [主な販売拠点:キラメッセ室戸「楽市」]	①	AP10	・H27.4月 地域おこし協力隊により庭先集荷開始 ・H27.8月 加工施設オープン(H27.8月~H28.3月 来客者数 174,551人)(前年比118%)
	2	東洋町	海の駅東洋町を拠点とした地域振興	・東洋町 ・東洋町観光振興協会 [主な販売拠点:「海の駅東洋町」]	①	AP11	・来場者数(レジ通過者数) 174,122人(H27実績)(前年比110%) ・売上額 161,151千円(H27実績)(前年比114%)
	3	安田町	安田中山地区の活性化プロジェクト	味工房じねん(指定管理者:なかやま山菜工房) [主な販売拠点:味工房じねん]	②	AP28	・H27.5月 集活センター、高知大学での山芋栽培面積拡大(2畝→4畝) ・H27 地域おこし協力隊の着任(2名追加により高知ふるさと応援隊4名体制に) ・レジ通過者 24,122人(H27.4月~H28.2月)(前年比109%)
物部川	1	南国市	「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上	・JA長岡 ・隣の工房 [主な販売拠点:直販所「なの市」、飲食店「なのカフェ」]	①	AP6	・直販所等の売上 163,013千円(H27実績)(前年比95%) ・直販所等の雇用者数 34人(H27実績)
嶺北	1	大豊町	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組	・(株)大豊ゆとりファーム	①	AP5 AP15	・碁石茶について、テレビ放送(H27.3月)後、半年が過ぎても急激な落ち込みがなく、H27(1~12月)の売上は1億円を超える。 地域APに掲げた目標の年間5千万円を達成。
	2	嶺北地域全域	JA出資型法人を核とする地域活性化の取組	・(株)れいほく未来	①	AP2 AP12	[H27実績] ・作付面積:園芸作物159a、WCS345a、飼料作物234a、主食用米177a ・育苗事業販売額 40,780千円
仁淀川	1	土佐市	「ドラゴン広場」を核にした高岡商店街の活性化	・土佐市(指定管理者:土佐市商工会) [主な販売拠点:ドラゴン広場]	①	AP18	「ドラゴン広場」 ・来客者数 104,495人(H27実績)(前年比103.5%) ・直販所販売額 58,761千円(H27実績)(前年比135.2%)
	2	日高村	「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化	・日高村(指定管理者:隣の駅ひだか) [主な販売拠点:「村の駅ひだか」]	①	AP25	「村の駅ひだか」 ・来客者数(直販所レジ通過者数)166,533人(H27実績)(前年比※旧さんさん市含む 115.6%) ・直販所販売額197,175千円(H27実績)(前年比※旧さんさん市含む 188.9%)
高幡	1	津野町	津野町地産地消・外商販売戦略	・(有)津野町ふるさとセンター ・津野町(指定管理者:隣の満天の星) ・隣の満天の星 [主な販売拠点:アンテナショップ満天の星、道の駅布旗と坂、風車の駅]	①	AP30	・直販所総売上 154,160千円(H27実績)(前年比100.6%) ・隣の満天の星売上 207,826千円(H27実績)(前年比110.0%)
	2	四万十町	四万十町拠点ビジネス体制の強化	・(株)あぐり窪川 四万十町 [主な販売拠点:道の駅あぐり窪川]	①	AP31	・あぐり窪川販売額 250,000千円(H28.1月末)(前年比100.3%)
幡多	1	三原村	三原村ユズ産地化計画の推進事業	・(公財)三原村農業公社 ・三原村 ・JA高知はた ・三原村集落活動センター推進協議会 [主な販売拠点:みはらのじまんや、幡多地域の直販所]	①	AP4	・ユズ栽培面積:43.3ha(H28.3) ・産振補助金を活用し、H27ユズ加工施設整備(別途選果機)、H28搾汁機導入予定(H28秋稼働開始)
	2	四万十町	売り出せ西土佐プロジェクト推進事業	・(株)西土佐ふるさと市(指定管理者) [主な販売拠点:道の駅「よって西土佐」]	①	AP24	・道の駅「よって西土佐」 H28.4.10開業(プレオープンH28.3.30) ・事業主体:「隣の西土佐ふるさと市」が法人化(H27.6.1) ・地域拠点として、周辺施設や商店街等との連携による
	3	大月町	大月町まるごと販売事業	・(一財)大月町ふるさと振興公社 [主な販売拠点:道の駅「ふれあいパーク大月」]	①	AP29	大月町ふるさと振興公社 ・総売上 203,491千円(H27実績)(前年比120.5%) ・H27 地域おこし協力隊(外商担当)の着任
	4	黒潮町	佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業	・(株)なぶら土佐佐賀(指定管理者) [主な販売拠点:道の駅「なぶら土佐佐賀」]	①	AP34	道の駅「なぶら土佐佐賀」 ・レジ通過者数 182,552人(H27実績)(前年比95.5%) ・売上 162,410千円(H27実績)(前年比93.4%) ・地域の関連事業者と連携した機能強化の取り組み
	計14件				①13件 ②1件		

※取組区分 ①地域アクションプランに位置づけ、「拠点ビジネス」として展開している取り組み
 ②新たな「拠点ビジネス」の構築に向け、仕組みづくり等を行っている取り組み